

病床ひっ迫

海外ではコロナ感染がピークを迎えつつあるとの報道もありますが、日本では昨日もニュースで川勝知事が述べているように静岡県下でのコロナ感染者の重症化率は悪化の一途を辿り、感染者がなかなか入院できない状態が続いています。

救急センターでは前夜からオーバーステイしたコロナ患者が日勤帯になっても収容先が見つからず、保健所に広域（つまり静岡県全域）で探してもらってもなかなか決まらず、結局順天堂静岡病院にお願いしたという事態に至りました。それほど病床はひっ迫しており、日々救急センターでは受け入れ先に苦労しています。

当院でも熱発で PCR 検査を希望してくる患者と、ワクチン接種の方々に土曜日は外来が溢れかえり、医療崩壊一步手前となりました。中には遠い所から保健所にここを紹介されてきたという患者さんや、他の医療機関で断られたという患者さんもいましたが、今の保健所の忙しさを思うとクレームを言う訳にもいかず、患者さんから「先生頑張ってね！」と声をかけられて、「負けるものか！」と当院の狭い駐車場の中で防護服を着て飛び回っていました。

終わりの見えない戦いに心が折れそうな時ももちろんありますが、なんとか職員に声をかけて励まし合いながら、サザンのコブラツイストの歌詞そのもの「命がけで今日も生きてるんだよー、心は土砂降り雨ン中ア」とつぶやきながら今を乗り切っています。